

令和元年度 第1回学校運営協議会 議事録

1 日 時： 令和元年7月13日（土）14時～15時30分

2 会 場： 三国丘高等学校 校長室

3 出席者：

[委員] 田中満公子委員、今西邦夫委員、井上博史委員、西端律子委員、中西康之委員
(坂部弘重委員:ご欠席)

[学校側] 濱崎年久校長、高崎克司教頭、三木敬之事務部長、
田中和代首席、恩智理指導教諭、駒井泰之教諭、吉田まちの教諭、
中山陽子教諭、中津佳人教諭、崎谷恵美教諭、鎌苅千華教諭

4 次第

① 校長挨拶

② 出席者紹介

③ 学校協議会実施要綱について

④ 議事

(1) 令和元年度学校運営計画について（報告）

とくに質疑なし

(2) 各学年の状況について

(ア) 3年

【委員】 講習は希望をとるのですか。

【学校】 はい。各教科、講習の趣旨を掲示し、必要なものを受講するように伝えています。

【委員】 何人くらい集まるのか。

【学校】 例えば国語でしたら記述演習ですので、40人程度が限度としています。

【委員】 一人いくつとることができるのか。

【学校】 時間が重ならなければいくつでも取ることができます。なるべくたくさんの生徒が受けられるように時間を調整しながら開催しています。

【委員】 運動部の生徒は勉強が遅れてしまうと思う。その生徒に対してなにか救済措置のようなことはあるのか

【学校】 実情では、早々と部活動をやめてしまった生徒が結果を残すかということ、そうではなく、辛い中で勉強しながら部活動も一生懸命した生徒が引退後にとてつもない力を発揮することがあるというのが、毎年あります。基本的なことから積み上げていくことを知っている生徒たちなので、こちらから何かしてあげる、というよりは他の方法が良いのではないかと思います。

【委員】 補習講習はされていますか？

【学校】 成績不振者講習は2年生まではありますが、3年生はありません。

【委員】 吉田先生からは文武両道ということで、部活動を目一杯頑張ってそのまま受験にも突入させていきたいというお話をいただきました。

(イ) 2年

【委員】 京大、阪大見学会ですが、昨年度はなかった。その代わりに今年2年生が見学会に行ったということですか。1年生はどうなるのですか。

【学校】 1年生は10月に行きます。

【委員】では、また例年通りに行われるということですね。

【学校】補足させていただきますと、73期学年は、昨年1年のときに京大へ行くことができず、2年の7月に実施となりまして、最初は全員京大の方へと企画していたのですが、京大の先生方のご都合がつかず、文系の方は全員阪大へという形にさせていただきました。ただ阪大は、文系は人間科学部や外国語学部など文系の中では非常にオリジナリティのある学部がたくさんあり、そのの在学生在が全学部協力してくれ、お昼ご飯も一緒に食べてくれるなど、非常に有意義な見学会になりました。1年生はまた全員京大へ見学ということで企画しております。

(ウ)1年

【委員】質問会は初めての試みですか。

【学校】質問会というように場所を設けてやったのは初めてです。どの学年もかなり多くの生徒が質問にきています。過去からやっていたことを少し整理した、という印象です。

【学校】TAを招いてというのは初めてです。

【委員】質問会の先生側の感想というのがありますか。

【学校】数学の先生の話によると、やはり手が足りないくらい質問があり、必要だったという再認識の声が届いています。数学の先生方は大変ですが、すごく積極的に取り組んでくださっていますので、生徒からの評判も良いです。

(3) スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の今年度の取組について (報告)

【委員】ハイドロエッジというのはどういうものなのか。

【学校】液体水素を作っている工場だと、空気からの窒素、酸素、アルゴンなどを取り出して水素を販売している工場、エネルギーのリサイクルのことを考えており、隣に天然ガスの工場があるのですが、このガスが気化する際の熱をつかって液化することをしておりました。国の政策として、やはり水素という物質に着目しており、来年度の東京五輪の聖火にも水素が用いられるそうです。

【委員】民間企業ですか。

【学校】民間企業です。岩谷と関電との半々の会社です。二酸化炭素を減らすために水素を使うということなのですが、メタンを用いて液体水素を作ります。二酸化炭素を減らすために、メタンを用いるということで矛盾があります。様々なことから、水素がもってこられているのですが、生徒の中から二酸化炭素を減らすために水素を用いているのに、作るときにメタンを使うと意味が無いのでは、というするどい質問がでました。その生徒には、情報を鵜呑みにするのではなく、しっかりと考えることが大切で、良い質問だったと伝えました。

【委員】体感学習はそれぞれの人数はどれくらいか。

【学校】物理のつくばは遠くまで行くということで20名、生物は16名、化学のハイドロエッジ工場見学は62名、化学の薬学部体験が16名、医学部に関しては12月下旬に決まります。去年は12名でした。

【学校】NASA、FITは、明後日から行って参ります。26名で今の2年生が行くのですが、すごく興味関心が高くて50くらいの応募があってその中の26名が行きます。この中でインターハイに出場する生徒も参加します。今年は事後学習ということで6班に分けて、学んだことを深化させて外部に向けて発表するという活動をします。11月に行われる学校説明会の中でも発表させようと考えています。

【委員】これらにおいて、生徒は自費参加ですか。

【学校】NASA、つくばに関してはSSHの方からいくらか補助がでます。生物と化学に関しては交通費のみです。自費です。

【委員】課題研究について今年度からは倍の8クラスで進めていただいているということで、教員側も様々な工

夫が必要とされているかと思うのですが、いかがですか？

【学校】今年度は数学で数学オリンピック講座があり、40名ほどで、第一希望でない生徒も多くいます。現在各講座30名程度なのですが、40名程度に増す必要があると考えています。

【委員】数学チャレンジには、希望通りにいかなかった生徒がいる、ということなのですね。

【学校】理系の生徒たちは文系の講座を希望はしないので、理系の生徒の選択肢としては、理系の課題研究か音楽、体育、数学チャレンジという形になってきます。課題研究から第二希望で数学チャレンジになる生徒もいるかと思えます。

(4) スーパーグローバルハイスクール(SGP)の今年度の取組について(報告)

【委員】海外進学した生徒は全員女性ですか？

【学校】SGHからは、男性は一人です。あとはもう一人はSGH以外です。校内で行った海外進学フェアには、秋田の国際教養大学にいき、ユニセフなど様々な所へ行っている子がきてくれ、様々な話をしてくれました。1年生が3名、2年生が10名、3年生が18名もきてくれました。

【委員】3年生が18名ですが、いかがでしょうか？

【学校】今年の3年生で海外進学希望者は3人なのですが、おそらく大学に行ってから留学に行きたいと考えている生徒もおり、みんな関心を持っています。あと、国内進学をした者の中にも海外に関心を持って留学に行く決めていている子が2人もおります。本当に世界各地に散らばって様々な活動をしてきています。そんな彼等がまた伝えに来てくれるので、本当にいい循環をしていると感じています。

【委員】SGPについての報告で、本当に少しずつですけど、「広がり」とか「多様性」が三国丘の中でも出てきていると感じさせていただくような報告であったのではないかと思います。

【委員】先ほど校長先生から今年度の学校経営計画のご説明いただきましたが、SGPの取り組みはこの中には入れてないのでしょうか。もう少し表に出してもいいのではと思います。

【学校】フィリピン研修で何をするのかについては、SGHのときからずっとお世話になっており、三丘セミナーにも来てくださっている関西学院大学の西野先生(国際政策学部教授)にご助言を頂き、内容を決めていくのも良いのではないかと考えています。

【委員】コースが二つに分かれておりますけれども、研修を受けるときには一緒に受けるということでしょうか？

【学校】基本的には一緒に受けます。ただ、必要に応じて分かれることもあります。

(5) 令和元年度進路結果について(報告)

【学校】大阪大学の合格者が少ないというのは受験生が少なかったのですか。

【学校】例年よりも少なかったです。

【委員】前に化学の問題を見る機会があって、こんな難しい問題を出すのか、と思いました。京大、阪大は医学部の点数がものすごく高いですね。だからいろいろな題材から取ってくるらしいです。そういう意味では、国語力が必要になってくるのか、と思います。問題集に載っていない問題をさせる必要があるのかと思います。化学の教員の研修会などあるのでしょうか？

【学校】あります。京大や阪大の入試問題に対する不満も多く出てきます。やはり、問題文を読むだけでとても時間が掛かるので、講習などでも解き方や問題の読み方を指導します。

【委員】指定校推薦はどれくらい利用しているのでしょうか？

【学校】たくさん頂いていますが、本校の生徒は薬科大学か関学の指定校をまれに利用します。関関同立の入試は一般受験で普通に受けたら通る生徒が多いので推薦はあまり利用されません。

【学校】三国丘の英語科はカリキュラムを変えました。4技能型外部試験を受けなさいとの指示を受けての変更

です。4技能型試験に対する体制はだいぶ整ってきました。音声を使った授業ができるようになったことはプラスです。従来通りの入試に対する対策もより良くできていると思われま

(6) 平成31年度使用教科書選定について（報告）

とくに質疑なし

(7) その他

【委員】教育の情報化ということについて、文部科学省の教育の情報化に関する手引きの検討委員を引き受けています。先ほども出ていたICTや働き方改革、ポートフォリオなどについて、なにかお役に立てることがあれば協力させていただきます。

【委員】SGPという後継のプログラムを独自で行っているのは、とても強いことだと思われま

【委員】SGPという素晴らしい取り組みがあるということで、また同窓会でも周年行事の際などに取り上げていきたいと思

【委員】プロジェクターからさらに進んだものがあるということで、様々なものを考えていく必要があると感じま

【学校】ポートフォリオについては、大きな課題となっております。今の二年生から始まる調査書についても、今後は電子調査書に変えていくという流れが出ています。本校は、三丘ポートフォリオという形で生徒各々が成果を残していくということをして